

2018年11月14日

ランクセス、2018 年度第 3 四半期の業績を発表

～ 堅調な第 3 四半期を受け、通期の業績は前回発表同様、上限に近い値の達成を予測 ～

ランクセス株式会社

- 2018 年度第 3 四半期の連結売上高: 17 億 9,000 万ユーロ (前年同期比 4.4%増)
- 特別項目を除いた EBITDA: 2 億 7,700 万ユーロ (前年同期比 1.5%増)
- 特別項目を除いた EBITDA マージン: 15.5%
- 継続事業からの当期純利益: 8,000 万ユーロに増加
- 2018 年度通期の業績予測: 特別項目を除いた EBITDA は、前回発表同様、予測範囲 (前年比 5～10%増) の上限に近い値の達成が見込まれる

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス (LANXESS) は、2018 年度第 3 四半期の業績を発表しました。堅調な第 3 四半期を受けて、2018 年度通期の業績予測は、前回発表同様、予測範囲 (前年比 5～10%増) の上限に近い値を達成するとの見通しを立てました。2017 年度通期は、約 9 億 2,500 万ユーロを達成しています。

ランクセスの CEO であるマティアス・ツァハトは、次のように述べています。「ランクセスは、近年、課題に取り組んできたことにより、優位なポジションを構築することができました。従って、経済的、地政学的な不確実性の逆風にも関わらず、ランクセスは成長軌道を継続します」

第 3 四半期の連結売上高は、前年同期比 4.4%増の約 17 億 9,000 万ユーロとなりました。特別項目を除いた EBITDA は、前年同期比 1.5%増の 2 億 7,700 万ユーロ (前年同期: 2 億 7,300 万ユーロ) となりました。この主な要因は、製品価格の値上げによるものです。堅調であった前年同期の売上高は、17 億 1,000 万ユーロを達成しています。製品価格の値上げ、ケムチュラ社買収によるシナジー効果、2018 年春にソルベイ社から買収した米国に生産拠点を持つリン添加剤事業が好業績に貢献しました。特別項目を除いた EBITDA マージンは、第 3 四半期も堅調で 15.5% (前年同期: 16.0%) となりました。

継続事業からの当期純利益は大幅に増加し、8,000 万ユーロ (前年同期: 5,500 万ユーロ) となりました。2017 年度第 3 四半期の純利益は、製造ネットワークの統合に関する一時的な費用の計上の影響しました。

スペシャリティアダプティクス部門が最高益を達成

アドバンスト中間体部門の売上高は、前年同期比 11%増の 5 億 3,400 万ユーロ(前年同期:4 億 8,100 万ユーロ)となりました。特別項目を除いた EBITDA は、前年同期と横ばいの 8,700 万ユーロとなりました。特に、アドバンスト工業化学品ビジネスユニットの中間体事業が好調であったため、サルティゴビジネスユニットにおける農薬産業の継続的な需要低迷の影響を補いました。特別項目を除いた EBITDA マージンは、16.3%(前年同期:18.1%)となりました。

スペシャリティアダプティクス部門の売上高は、4.6%増の 5 億 200 万ユーロ(前年同期:4 億 8,000 万ユーロ)となりました。特別項目を除いた EBITDA は、前年同期比 20.8%増の 9,300 万ユーロ(前年同期:7,700 万ユーロ)となりました。その結果、同部門が部門間において初めて最高の EBITDA を達成したことになります。この好業績の主な要因は、ケムチュラ社買収のシナジー効果とソルベイ社から買収した米国に生産拠点を持つリン添加剤事業の貢献が挙げられます。特別項目を除いた EBITDA マージンは、18.5%(前年同期:16.0%)と大幅に増加しました。

パフォーマンスケミカルズ部門の売上高は、前年同期比 8.5%減の 3 億 3,400 万ユーロ(前年同期:3 億 6,500 万ユーロ)となりました。特別項目を除いた EBITDA は、前年同期比 18.5%減の 5,300 万ユーロ(前年同期:6,500 万ユーロ)となりました。この主な要因は、ストライキなどによるクロム鉱石事業の低迷、物質保護剤ビジネスユニットの二酸化塩素消毒ソリューション事業の売却、建設産業向けの顔料の販売量減によるものです。特別項目を除いた EBITDA マージンは、15.9%(前年同期:17.8%)に減少しました。

エンジニアリングマテリアルズ部門の売上高は、前年同期比 12.6%増の 3 億 9,400 万ユーロ(前年同期:3 億 5,000 万ユーロ)となりました。特別項目を除いた EBITDA は、前年同期比 9.4%と大幅増の 7,000 万ユーロ(前年同期:6,400 万ユーロ)となりました。ハイパフォーマンスマテリアルズビジネスユニットにおける販売量の増加および製品価格の値上げが特に好業績に貢献しました。特別項目を除いた EBITDA マージンは、17.8%(前年同期:18.3%)と微減となりました。

2018年度第3四半期 主要データ(単位:100万ユーロ)

	2017 年度 第 3 四半期	2018 年度 第 3 四半期	変動率(%)
売上高	1,710	1,786	4.4
特別項目を除いた EBITDA	273	277	1.5
特別項目を除いた EBITDA マージン(%)	16.0	15.5	
継続事業からの当期 純利益	55	80	45.5

#

これは、ドイツ・ケルンで11月12日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて:

ランクセスは、世界 25 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2017 年の総売上は 97 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 19,200 人、世界中に 73 の拠点を展開しています。主な事業は、中間体、特殊化学品、プラスチックの開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のワールド・インデックス(DJSI World)、ヨーロッパ・インデックス(DJSI Europe)および「FTSE4Good」の構成銘柄です。

ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statements)

本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進展が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いいたします。本資料に示されたいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://globe360.net/broadcast.lanxess/> (英語)

ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。

<https://webmagazine.lanxess.com/ja/> (日本語)

ランクセスの Twitter、Facebook、Linkedin、YouTube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

http://www.twitter.com/LANXESS_JP (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/lanxess> (英語)

(2018-00087J)